



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2021.3.8 No.38

結成から
1年

第1回 定期委員会を開催！

委員会宣言(案)

私たち、JR東日本輸送サービス労働組合山梨支部は本日、山梨県立図書館において、第1回定期委員会を開催した。21春闘において、格差のないベアの実現、安全、安心な鉄道づくりとアフターコロナの明るい未来をつくっていくために、全ての仲間とともに推し進めていくことを確認した。

新型コロナウイルスの国内感染が確認されてから1年が経った。ワクチンの接種が開始されたとはいえ、変異株が相次いで発生し、政府による二度目の緊急事態宣言も発出され依然として予断は許さない状況だ。コロナ禍により、私たちの生活は大きく変わり、多くの企業はテレワークを推奨してきている。しかし、私たちの仕事は現場に向かなければ成り立たない業務、いわゆる「エッセンシャルワーカー」として「公共交通機関」という社会的使命を日々果たしている。感染リスクと隣り合わせで業務に従事していることからいつ自分が感染してもおかしくない状況だ。無症状者から感染をを広げてしまうリスクもあり、私たちは不安なく、働くために改めて全社員のPCR検査の実施を求めて、全ての仲間とともに新型コロナウイルスを乗り越え、「いのち」を最優先にし、「安全」で「安心」して働く職場環境を創っていこう。

営業職場では会社による効率化施策が次々と進められている。出札窓口の閉鎖、縮小化、自動券売機の廃止などである。竜王駅では出札窓口の閉鎖後、「話せる指定席券売機」の導入と有人改札はお客さまがインターホンを押した際に社員が出てきて対応するという形に変わった。周辺駅では無人駅が多く、その駅から乗車したお客さまが降りる際に自動精算機で対応できず、有人改札で精算しなければならないことが多い。常に改札口に社員がいれば、急いでいるお客さまの対応が迅速に行えるはずなのに、これでは、地域の方に寄り添ったとは到底思えない。更に2021年2月には、特急停車駅以外の駅でこみ箱の一時撤去が行われた。会社は「駅構内における安全の確保および新型コロナウイルスの感染拡大防止等」を理由としている。これらの理由を否定はしないが、それまでこみ箱を管理する人たちの働く場所が失われかねないことを忘れてはならない。

新たなジョブローテーション施策では本人希望の無視や家族状況の考慮をしないで強制配置転換が行われてきた。「次は自分の番なのか？」と日々不安を抱えながら業務を担う仲間がいる。本部が実施したアンケートで山梨支部の営業職場の仲間から、「ジョブローテーション施策を実施し、安全・サービスレベルが向上すると思いますか」に対し、「思わない」という回答が100%だった。アンケートを通じてあがった仲間の声からは、「その道のスペシャリストは大事だと思う。10年で異動となるとスペシャリストは育たない。」「職場のグルグル回しのみで、現状業務が追いついていない。」「社員数の減少に伴い、営業職場においては1人当たりの業務量が増加しているが、本来業務に真面目に取り組む社員が評価されず、インフォーマル活動を本来業務以上に行う社員のほうが高く評価される現状がある。ジョブローテーション施策を進展させることが鉄道従事者の使命を脅かすことにつながるか、問い質す必要がある。」というものだった。この施策に「社員・家族の幸福の実現」ができると思わない。会社に「中止・見直し」を求め続けていく。

21春闘が始まった。コロナ禍で多くの企業が赤字決算を出しており、JR東日本も中間決算が過去にない赤字となった。そんな中でも会社は「今必要なのか？」という中央快速線グリーン車導入などの設備投資を続けている。更に乗務員職場を中心に議論無く一方的に休憩室に設置している食器類を撤去し、会社が新たに用意したということも起こった。これは明らかな「ムダなコスト」であり、使用できる食器類を撤去するのはモノを大切にせず、これは思えない。このようなところに投資ができるのであれば、私たち働く仲間一人一人に還元する能力はある。JTSU-Eが要求する一律「3,000円」のベースアップは「物価上昇分を考慮した生活維持向上分」であり、自分たちの生活にもかかっていく。賃上げを維持していくべきことからベースアップ満額を勝ち取っていこう。

1年前、JTSU-Eを結成し、山梨支部も1年前の結成大会で、「不当労働行為根絶!!」のスローガンを掲げ、運動を展開してきた。しかし、不当労働行為は依然として止まっていない。昨年7月八王子駅で勤務時間外に新入社員に組合パンフレットを配布したところ、会社施設内において組合活動を行ったという「就業規則第23条違反」を理由に会社は組合員に厳重注意処分を出した。JTSU-Eとの労働協約が締結されている中であるにも関わらず、就業規則だけを理由に処分を出すのは納得がいかない。その後、東京都労働委員会に不当労働行為救済申し立てを行い、受理された。様々な場所で行われている不当労働行為の実態を明らかにし、安心して働く職場環境の確立を目指し、全ての仲間へ結集を呼びかけ、組織強化・拡大を実現する為に更に奮闘しよう！

以上宣言する。

2021年3月8日
JR東日本輸送サービス労働組合
八王子地方本部 山梨支部
第1回定期委員会

満場一致で採択!!

委員会宣言

21春闘やジョブローテーション施策の中止・見直しなど

全ての仲間とともに課題を解決していこう！

